

作成日：2018年07月01日
改訂日：2024年07月01日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品の名称: ショーボンド SBRACガード SBRACパウダー
会社名: ショーボンドマテリアル株式会社
住所: 埼玉県川越市芳野台2-8-10
担当部門: 品質保証課
電話番号: 049-225-5611 FAX: 049-225-5616
緊急連絡先: 品質保証課 電話番号: 049-225-5611
整理番号: SBRACガード SBRACパウダー -04

推奨用途及び使用上の制限: 工業用、所定の用途以外には使用しないこと

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性:	可燃性固体	分類できない
健康に対する有害性:	皮膚腐食性/刺激性	区分1
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1
	生殖細胞変異原性	区分2
	発がん性	区分1A
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分3(気道刺激性)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1(呼吸器、免疫系、腎臓)

※記載なきGHS分類区分: 区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語: 危険

危険有害性情報: H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
H318 重篤な眼の損傷
H341 遺伝性疾患のおそれの疑い
H350 発がんのおそれ
H335 呼吸器への刺激のおそれ
H372 長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器、免疫系、腎臓の障害

注意書き

予防策: 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
取扱い後、手や顔をよく洗うこと。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

対応: 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。
皮膚(または髪)に付着した場合: 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流

水で洗うこと。汚染した衣類を再使用する場合には洗濯すること。
 眼に入った場合：水で 15～20 分間注意深く洗うこと。
 次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
 その後も洗浄を続けること。直ちに医師の診察を受けること。
 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師に連絡すること。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。
 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。
 直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管すること。
 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に、業務委託し廃棄すること。

保管
 廃棄

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名又は一般名 (成分)	官報公示整理番号 化審法	CASNo.	濃度又は 濃度範囲(含有量%)
結晶質シリカ	1-584	14808-60-7	40～50
ポルトランドセメント (アスベストを含まず、結晶質シリカ 1%未満)	該当しない	65997-15-1	40～50
酸化マンガン	1-475	1344-43-0	1 未満

4. 応急処置

目に入った場合：速やかに清浄な水で 15～20 分間注意深く洗うこと。
 直ちに医師に連絡すること。
 皮膚に付着した場合：汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。
 速やかに多量の水で洗うこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 症状が続く場合には、医師に連絡すること。
 飲み込んだ場合：無理に吐かせないで、水でよく口の中を洗浄したのち、直ちに医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤：この製品自体は燃焼しない。
 使ってはならない消火剤：特になし
 特有の消火方法：特になし
 消火を行うものの保護：特になし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
 関係者以外の立入りを禁止する。
 作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、
 眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
 環境に対する注意事項：流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
 濃厚な洗浄水は中和、希釈処理等により、河川等に直接流出しないように対策を
 とる。
 回収・中和、封じ込み及び
 浄化の方法・機材：飛散したものは、掃除機等で吸い取るか、スコップ、箒等でできるだけ粉体の状態
 で回収し、廃棄まで容器で保管する。
 危険でなければ漏れを止める。
 すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。
 床面に残るとすべる危険性があるため、こまめに処理する。
 やむをえず床面等に残ったものは、水で洗浄する。洗浄水は回収し、中和処理等
 により適切に処理する。
 回収物や回収した洗浄水は、13. 廃棄上の注意に従い、廃棄又は排水する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：

- 技術的対策： 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用すること。
- 局所排気・全体換気： 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なうこと。
- 安全な取り扱い注意事項： 周辺で火気の使用、発生のないこと。
使用前にショーボンドマテリアルホームページ「樹脂製品の取り扱いについて」「樹脂製品を安全にご利用いただくために」を必ず参照すること。
ホームページアドレス：<https://www.sb-material.co.jp/resin/download.html>
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
接触、吸入又は飲み込まないこと。
粉じん、ヒュームを吸入しないこと。
屋外又は換気の良い区域のみで使用すること。
取扱い後は、よく手を洗うこと。
「10.安定性及び反応性」を参照。
- 接触回避：

保管：

- 技術的対策： 屋内で取り扱う場合は、換気に注意する。
- 保管条件： 部外者が触れない措置を講ずる。乾燥した場所に保管する。
- 混色禁止物質： 酸性の製品、水と接触のおそれがない場所に貯蔵する。
- 容器包装材料： 包装、容器の規制はない。防湿性の容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策： 室内で取り扱う場合は、管理濃度以下にするために十分な能力を有する換気装置を備える。多量に取り扱う場合は、集塵装置を設置する。

保護具

- 呼吸器の保護具： 防塵マスク
- 手の保護具： 保護手袋
- 目の保護具： 保護眼鏡
- 皮膚及び身体の保護具： 保護衣

[管理濃度]

- シリカ : $E = 3.0 / (1.19Q + 1)$
E: 管理濃度 (mg/m³)
Q: 当該粉じんの遊離けい酸含有率 (%)
- 酸化マンガン : 0.05mg/m³ (マンガン及びその化合物、マンガンとして)

[許容濃度]

- シリカ : 日本産業衛生学会(2020年)
吸入性結晶質シリカ 0.03 mg/m³
: ACGIH(2021年) 0.025 mg/m³ (TLV-TWA)
- ポルトランドセメント : 日本産業衛生学会 (2021年)
吸入性粉じん 1 mg/m³
総粉じん 4 mg/m³ (第2種粉じん)
: ACGIH (2021年) 1 mg/m³ (TWA)
- 酸化マンガン : 日本産業衛生学会 (2021年)
吸入性粉じん 0.02 mg/m³
総粉じん 0.1 mg/m³ (マンガンおよびマンガン化合物
(Mnとして、有機マンガン化合物を除く))

9. 物理的および化学的性質

- 物理的状態、形状等： 固体(粉末)
- 色： 灰白色
- 臭い： 無臭
- 融点／凝固点： 1000℃以上
- 沸点,初留点及び沸騰範囲： 不燃性

可燃性:	不燃性
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界:	爆発性無し
引火点:	不燃性
自然発火温度:	不燃性
分解温度:	データなし
pH:	水と接触すると12~13
動粘性率:	該当しない
溶解度:	水と反応
n-オクタノール/水分配係数(log値):	データなし
蒸気圧:	データなし
密度及び/又は相対密度:	2.70~2.90g/cm ³ (20℃)
相対ガス密度:	該当しない
粒子特性:	データなし
その他情報:	データなし

1 0. 安定性および反応性

安定性:	通常の条件では反応しない。
反応性:	水と反応して安定固化する。
避けるべき条件:	保管時: 水、湿気、酸。使用時: 酸
混触危険物質:	酸性の製品。水と接触すると強アルカリ性 (pH12~13) を呈する。
危険有害な分解生成物:	該当なし

1 1. 有害性情報

急性毒性:	データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性/刺激性:	水と接すると強アルカリ (pH=12 13) となる。また本製品の粉じんは体内の水分と結合して、皮膚と眼に軽度~重度の腐食性火傷を形成することがある。これより区分 1 とした。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:	水と接すると強アルカリ (pH=12 13) となる。また本製品の粉じんは体内の水分と結合して、皮膚と眼に軽度~重度の腐食性火傷を生じることがある。また、本製品が眼に滞留した場合、洗い流さないとアルカリ火傷を生じるおそれがある。これらより区分 1 とした。
呼吸器感作性又は皮膚感作性:	データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性:	含有成分の有害性情報から区分 1 とした。
発がん性:	含有成分の有害性情報から区分 1A とした。
生殖毒性:	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	含有成分の有害性情報から区分 3 (気道刺激性) とした。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	含有成分の有害性情報から区分 1 (呼吸器、免疫系、腎臓) とした。
誤えん有害性:	データ不足のため分類できない。

1 2. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性):	データなし
水生環境有害性 長期(慢性):	データなし
生態毒性:	情報なし
残留性・分解性:	情報なし
生体蓄積性:	情報なし
土壤中の移動性:	情報なし
オゾン層への有害性:	モントリオール議定書の附属書に記載される物質成分はない。

1 3. 廃棄上の注意

- ・ 残余廃棄物
 - 固化後、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき廃棄する。

洗浄水等の排水は、水質汚濁防止法等の関係諸法令に適合するように十分留意しなければならない。

処理等を外部の業者に委託する場合は、都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に産業廃棄物管理票（マニフェスト）を交付して委託し、関係法令を遵守して適正に処理する。

・汚染容器及び包装

容器は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に従い処分する。

1 4. 輸送上の注意

注意事項

粉じんの立たない方法で輸送すること。

破袋、損傷、容器からの漏れ、荷崩れ等の防止を確実に行うこと。

湿気、水濡れに注意すること。国内規制

陸上輸送：該当しない

海上輸送：該当しない

航空輸送：該当しない

国連番号：該当しない

国連分類：該当しない

1 5. 適用法令

労働安全衛生法：	粉じん障害防止規則
[表示対象物質]	「ポルトランドセメント」「結晶質シリカ（※がん原生物質）」 「マンガン及びその無機化合物」
[通知対象物質]	「ポルトランドセメント」「結晶質シリカ（※がん原生物質）」 「マンガン及びその無機化合物」
毒物劇物取締法：	非該当
P R T R 法：	
[第 1 種指定化学物質]	非該当
[第 2 種指定化学物質]	非該当
消防法：	非該当
じん肺法：	第 2 条 施行規則第 2 条別表粉じん作業
労働基準法：	疾病化学物質（マンガン及びその化合物）

1 6. その他の情報

注意事項：本データは、工業的な一般的取扱いに際しての、安全な取扱いについて最新の情報を集め、記載したものです。必ずしも充分とはいえないので取扱いには充分注意して下さい。

新たな情報を入手した場合は、追加または改訂されることがあります。

本製品の取扱いに記載されている以外の他の化学物質を混ぜたり、特殊な条件で使用するときは、ユーザーが安全性の評価を実施してください。

参考文献

- 1) GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場の表示及び安全データシート (SDS) : J I S Z 7 2 5 3 : 2 0 1 9)
- 2) 製品安全データシートの作成指針平成 1 8 年 5 月 (社団法人日本化学工業協会)
- 3) GHS 分類結果データベース、独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ
- 4) 原材料/製品メーカー MSDS (SDS)

作成日：2018年07月01日

改訂日：2024年07月01日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品の名称:ショーボンド SBRACガード SBRACリキッド
会社名:ショーボンドマテリアル株式会社
住所:埼玉県川越市芳野台2-8-10
担当部門:品質保証課
電話番号:049-225-5611 F A X:049-225-5616
緊急連絡先:品質保証課 電話番号:049-225-5611
整理番号:SBRACガード SBRACリキッド -04

推奨用途及び使用上の制限:工業用、所定の用途以外には使用しないこと

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性:	引火性液体	分類できない
健康に対する有害性:	急性毒性(経口)	区分4
	生殖毒性	区分1A
	生殖毒性・授乳影響	授乳に対するまたは授乳を介した影響に関する追加区分

※記載なきGHS分類区分:区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語: 危険

危険有害性情報: H302 飲み込むと有害
H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
H362 授乳中の子に害を及ぼすおそれ

注意書き

予防策: 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
取扱い後、手や顔をよく洗うこと。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

対応: 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。
皮膚(または髪)に付着した場合: 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水で洗うこと。汚染した衣類を再使用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合: 水で15~20分間注意深く洗うこと。
次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。直ちに医師の診察を受けること。
飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。

保管
 廃棄
 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。
 直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管すること。
 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に、業務委託し廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別:混合物

化学名又は一般名 (成分)	官報公示整理番号 化審法	CASNo.	濃度又は 濃度範囲(含有量%)
亜硝酸リチウム	1-1213	13568-33-7	20～30
硝酸リチウム	1-765	7790-69-4	1～5
水酸化リチウム一水和物	1-712	1310-66-3	0.3 未満
水	—	7732-18-5	70～80

4. 応急処置

目に入った場合: 速やかに清浄な水で 15～20 分間注意深く洗うこと。
 直ちに医師に連絡すること。
 皮膚に付着した場合: 汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。
 速やかに多量の水で洗うこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 症状が続く場合には、医師に連絡すること。
 飲み込んだ場合: 無理に吐かせないで、水でよく口の中を洗浄したのち、直ちに医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤: 水噴霧／乾燥粉末消火剤／泡消火剤／二酸化炭素。
 使ってはならない消火剤: 情報なし
 特有の消火方法: 可燃性のものを周囲から取り除く。消火活動は風上から消火する。
 高温にさらされる密閉容器は水をかけて冷却する。
 消火を行うものの保護: 消火作業の際は、必ず耐熱性着衣などを着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項: 保護具及び緊急時措置:直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離すること。関係者以外の立ち入りを禁止すること。
 作業者は適切な保護具(手袋、保護眼鏡等)を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避けること。風上に留まること。低地から離れること。
 環境に対する注意事項: 河川等へ排出され、環境への影響を起ささないように注意する。
 大量の流出には盛り土などで囲って流出を防止する。
 回収・中和: 土砂等(の不燃物)で囲みビニールシート等でおおい、蒸気の発生を抑えながら回収する。
 封じ込み及び浄化の方法・機材: 吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。
 二次災害の防止策: 付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除き、火災の発生を防ぐ。
 着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。
 関係箇所に通報し応援を求める。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い:
 技術的対策: 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用すること。
 局所排気・全体換気: 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なうこと。
 安全な取り扱い注意事項: 周辺で火気の使用、発生のないこと。

使用前にショーボンドマテリアルホームページ「樹脂製品の取り扱いについて」
 「樹脂製品を安全にご利用いただくために」を必ず参照すること。
 ホームページアドレス：<https://www.sb-material.co.jp/resin/download.html>
 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 接触、吸入又は飲み込まないこと。
 粉じん、ヒュームを吸入しないこと。
 屋外又は換気の良い区域のみで使用すること。
 取扱い後は、よく手を洗うこと。
 「10.安定性及び反応性」を参照。

接触回避：
 保管：
 技術的対策：
 保管条件：
 混色禁止物質：
 容器包装材料：

屋内で取り扱う場合は、換気に注意する。
 部外者が触れない措置を講ずる。乾燥した場所に保管する。
 情報なし。
 情報なし。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策：
 呼吸器の保護具：
 手の保護具：
 目の保護具：
 皮膚及び身体の保護具：
 呼吸器の保護具：

換気の悪い場所では局所排気装置等の排気のための装置を設置する。
 電気機器は防爆構造とする。
 取扱い場所の近くには、洗顔、身体洗浄のための設備を設ける。
 必要な個人用保護機器を使用すること。
 保護手袋
 保護メガネ
 化学薬品が浸透しにくい作業衣を着用する。
 必要な個人用保護機器を使用すること。

[管理濃度]：情報なし。

[許容濃度]：情報なし。

9. 物理的および化学的性質

物理的状態、形状等：	液体
色：	淡黄色
臭い：	無臭
融点／凝固点：	非該当
沸点、初留点及び沸騰範囲：	情報なし
可燃性：	非該当
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界：	情報なし
引火点：	情報なし
自然発火温度：	情報なし
分解温度：	情報なし
pH：	9.5-11.5
動粘性率：	情報なし
溶解度：	情報なし
n-オクタノール／水分配係数(log値)：	情報なし
蒸気圧：	情報なし
密度及び／又は相対密度：	1.1～1.2g/cm ³
相対ガス密度：	情報なし
粒子特性：	情報なし
その他情報：	情報なし

10. 安定性および反応性

安定性：
 反応性：
 避けるべき条件：
 混触危険物質：
 危険有害な分解生成物：

通常の場合では安定。
 通常の場合では反応しない。
 推奨の保存条件および取り扱い条件下において特になし。
 情報なし。
 通常の使用条件及び保管条件下において有害な分解生成物はなし。

1 1. 有害性情報

急性毒性（経口）：	飲み込むと有害 亜硝酸リチウム 40%水溶液として LD50 419.3mg/kg（マウス） 経口摂取すると急性中毒を起こし危険。症状としてはチアノーゼ、動悸、血圧低下が見られる。SBRAC リキッドは亜硝酸リチウム 40%水溶液の水希釈品であることから同様と考えられる。
急性毒性（経皮）：	データ不足のため分類できない。
急性毒性（吸入）：	データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性／刺激性：	データ不足のため分類できない。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：	分類できない
呼吸器感作性又は皮膚感作性：	データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性：	データ不足のため分類できない。
発がん性：	データ不足のため分類できない。
生殖毒性：	生殖能又は胎児への悪影響のおそれ 授乳中に子に害を及ぼすおそれ リチウムを治療目的で摂取していた 226 名の妊婦に 25 名の先天性奇形を生じた。妊娠の可能性のある女性に対してリチウムは禁忌になっている (ACGIH(2001))。またリチウムは "chemically induced Birth Defects" (Birth Defects 3rd. (2000)) で催奇形性物質としてあげられており、"Catalog of Teratogenic Agents" (Teratogenic 12th(2007)) でもリチウム服用の妊婦において心臓奇形の出産報告が複数あり、ヒトに対する催奇形性が示唆されていることにより区分 1A とした。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	データ不足のため分類できない。
誤えん有害性：	データ不足のため分類できない。

1 2. 環境影響情報

水生環境有害性 短期（急性）：	データなし
水生環境有害性 長期（慢性）：	データなし
生態毒性：	情報なし
残留性・分解性：	情報なし
生体蓄積性：	情報なし
土壌中の移動性：	情報なし
オゾン層への有害性：	モントリオール議定書の附属書に記載される物質成分はない。

1 3. 廃棄上の注意

産業廃棄物として許可を受けた専門業者に委託する。
容器を廃棄するときは、内容物を完全に除去した後に処分する。
容器、機械装置等を洗浄した排液等を、地面や排水溝へ流さないこと。

1 4. 輸送上の注意

注意事項

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
容器の漏れのないことを確かめ、転倒・落下・損傷のないように積込み、荷崩れの防止を確実に行う。
陸上輸送：該当しない
海上輸送：該当しない
航空輸送：該当しない
国連番号：該当しない
国連分類：該当しない

15. 適用法令

労働安全衛生法：	
[表示対象物質]	「硝酸リチウム」(令和6年4月1日以降)
[通知対象物質]	「水酸化リチウム」 「硝酸リチウム」(令和6年4月1日以降)
毒物劇物取締法：	非該当
PRT法：	
[第1種指定化学物質]	非該当
[第2種指定化学物質]	非該当
消防法：	非該当
水質汚濁防止法：	有害物質(法第2条、施行令第2条、排水基準を定める省令第1条)
海洋汚染防止法：	有害でない物質(施行令別表第1の2)
道路法：	車両の通行の制限(施行令第19条の13、(独)日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2)
水道法：	有害物質(法第4条第2項)、水質基準(平15省令101号)
労働基準法：	疾病化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1)

16. その他の情報

注意事項：本データは、工業的な一般的取扱いに際しての、安全な取扱いについて最新の情報を集め、記載したものです。必ずしも充分とはいえませんので取扱いには充分注意して下さい。
 新たな情報を入手した場合は、追加または改訂されることがあります。
 本製品の取扱いに記載されている以外の他の化学物質を混ぜたり、特殊な条件で使用するときは、ユーザーが安全性の評価を実施してください。

参考文献

- 1) GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場の表示及び安全データシート(SDS)：JISZ7253：2019)
- 2) 製品安全データシートの作成指針平成18年5月(社団法人日本化学工業協会)
- 3) GHS分類結果データベース、独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ
- 4) 原材料/製品メーカーMSDS(SDS)